

9月新着おすすめ本



『おとな女子が見たい 世界の絶景 100』

世界の絶景 100 選考委員会 著 (幻冬舎)

290.93

OT

180カ国以上を周った旅行ジャーナリストたちが厳選!女性目線で選んだ旅のスポット決定版。
(「BOOK」データベースより)



『AMAZING SPOT 日本の絶景&秘境 100』

朝日新聞出版 編 (朝日新聞出版)



ビューティフル・ジャパン。ニッポン感動遺産 47 都道府県、完全網羅。
(「BOOK」データベースより)

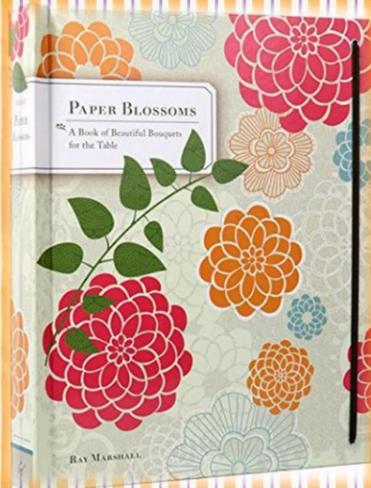
291.09

NI

『Paper Blossoms:

A Book of Beautiful Bouquets for the Table』

Ray Marshall 著 (Chronicle Books)



お花が飛び出す絵本



『Paper Blossoms, Butterflies & Birds:

A Book of Beautiful Bouquets for the Table』

Ray Marshall 著 (Chronicle Books)





596.04

TA

『良いかげんごはん』

たかぎなおこ 著 (オレンジページ)

記念すべき三十作目となる、たかぎなおこの「ふつうの日のごはん」マンガ。「実家風おでん」や「余りもの麻婆豆腐」、「風邪ごはん」など 共感&空腹必至の日々ごはんを手描き・フルカラーでおいしく描きます。著者の「ひとり暮らし」が読めるのはこの本でラストかも!?

(Amazon.co.jpより)



910.26

BU

『「文豪」がよくわかる本』

福田 和也 監修 (宝島社)

「人間失格」は太宰治だけじゃなかった…坪内逍遙から三島由紀夫まで 50 人の偉大な業績の裏に隠された素顔。知られざる人生譚から代表作のあらすじと解説まで。

(「BOOK」データベースより)

『まく子』

西加奈子 著 (福音館書店)



913.6

NI

小さな温泉街に住む小学五年生の「ぼく」は、子どもと大人の狭間にいた。ぼくは、猛スピードで「大人」になっていく女子たちが恐ろしかった。そして、否応なしに変わっていく自分の身体に抗おうとしていた。そんなとき、コズエがやってきたのだ。コズエはとても変だけれど、とてもきれいで、何かになろうとしていなくて、そのままきちんと足りている、そんな感じがした。そして、コズエは「まく」ことが大好きだった。小石、木の実、ホースから流れ出る水、なんだってまきちらした。そして彼女には、秘密があった。彼女の口からその秘密が語られるとき、私たちは思いもかけない大きな優しさに包まれる。信じること、与えること、受け入れること、変わっていくこと、そして死ぬこと……。この世界が、そしてそこで生きる人たちが、きっとずっと愛おしくなる。

(Amazon.co.jpより)

『ロマンシエ』

原田 マハ 著 (小学館)



913.6

HA

アーティストを夢見る乙女な美・男子が、パリの街角で、ある小説家と出会った。ラスト 277 ページから、切なさの魔法が炸裂する、『楽園のキャンバス』著者の新たなる代表作!

(「BOOK」データベースより)